

創業や事業承継の支援ファンド 長野県などが設立

2022/4/20 18:55 | 日本経済新聞 電子版

長野県と投資会社の**フューチャーベンチャーキャピタル**(FVC)、県内の金融機関などは、創業や事業承継を支援する「**信州スタートアップ・承継支援ファンド**」を設立した。ファンドの総額は7億700万円。投資額は1社あたり500万～1億円程度を想定する。



設立記念セレモニーを開催した(20日、長野市)

ファンドに出資したのはFVCのほか、**八十二銀行**グループが出資する「**八十二サステナビリティ1号投資事業有限責任組合**」や**長野銀行**、県内6信用金庫、長野県信用組合、長野県信用農業協同組合連合会、長野県信用保証協会。運用期間は2032年3月末までの10年間。

20日に善光寺(長野市)で設立記念セレモニーを開いた。阿部守一知事は「世の中は大きく変化しており、県産業が適応していくためには、新しい時代に向けた動きを積極的に作り出していくことが重要」と述べ、新ファンドの役割に期待を示した。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

